

体験交流館ニュース

■町民ハイキングのご案内

- 日 時：7月3日(土) 集合 6:00
出発 6:30 17:30 帰館(予定)
- 行き先：山形県蔵王温泉～お釜(荒天時、お釜周辺、
よねおり観光センター、高島ワイナリーなど)
- 参加料：3,000円(バス・ロープウェイ代ほか)
- 定 員：120人(定員になり次第、締め切ります)
- 持参品：昼食、雨具、着替え、ごみ袋など
- 申し込み方法：6月12日(土)新聞朝刊折り込みの町

民ハイキング申込書に記入し、参加料を添えて直接当館に申し込んでください。※電話、FAXでも申し込みできますが、来館者を優先とします(申込書は当館にも用意しています)。

- 受け付け開始：6月14日(月)午前9時から
(それ以前の申し込みは受け付けできません。代理の申し込みは、1人5人までとします)
- 問い合わせ：町体験交流館
☎(72)0180 FAX(62)5350

■名君、保科正之公について学ぼう ～歴史講座、東京方面視察研修のご案内～

本年度の歴史講座は、昨年に引き続き「保科正之公シリーズ」です。江戸幕府の執政・將軍後見人として活躍した、正之公のゆかりの地を訪ねる東京方面視察研修や碑文から読み解く会津藩松平家の歴史などを学習します。
※6月25日(金)申込締切。

○内 容

- ①7月14日(水)午前9時30分～11時30分
正之公が入封する前の会津について
- ②7月29日(木)～30日(金) 東京方面視察研修
バスでゆかりの地を訪ねる(清泰寺、徳川家霊廟、江戸東京博物館ほか)※1泊2日、浅草泊
- ③9月1日(水)午前9時30分～11時30分
土津神社に祀られている正之公の家臣たちについて

- ④10月24日(日)午前9時～正午
バスで県立博物館へ移動、会津史学会公開講座受講および会津藩院内御廟拝観
- ⑤11月17日(水)午前9時30分～11時30分
土津神社の碑文を読み解く part 1
- ⑥12月15日(水)午前9時30分～11時30分
土津神社の碑文を読み解く part 2
- 定 員：30人(成人対象となります)
- 参加料：無料 ただし②と④は自己負担あり
(食事・宿泊代金、博物館入館料など)
- 問い合わせ：町体験交流館
☎(72)0180 FAX(62)5350

■教育相談員を紹介します

町教育委員会では、町内在住の児童生徒や保護者の皆さんのさまざまな悩みに答えるため、教育相談員を配置しています。「友だちのこと」「子育てのこと」など、1人で悩まずに気軽に相談してください。
教育相談員：佐藤久栄さん

○問い合わせ先
町教育委員会 教育総務課
☎(62)5677 FAX(62)2451



■社会教育委員を紹介します

教育委員会から諮問された問題の協議や社会教育に関する計画の立案などをする、社会教育委員の皆さんを紹介します。
(任期は22年4月1日から24年3月31日)

○社会教育委員氏名

山野邊喜勝さん(金曲)	江花 俊和さん(葉山)
増子 玲子さん(樋ノ口)	大堀 明子さん(上ノ上)
小檜山芳子さん(幸野)	鈴木 敦子さん(廻谷地)
長谷川好英さん(西久保)	安部 慎一さん(本町)

町外イベントのご案内

■福島いのちの電話チャリティーコンサート

「名曲アルバムコンサート」～ショパン情熱の生涯～スクリーンに映し出される美しい映像とともに楽しむ。NHK「名曲アルバム」がコンサートとして実現！

○日 時：7月20日(火)午後7時開演(6時開場)

○会 場：喜多方プラザ文化センター 大ホール

○入場料：3,000円(全席自由)

- 出演者：ロシアの世界的なピアノ奏者
フィリップ・コバチェフスキ
- 司 会：元NHKアナウンサー 古藤田京子
- 問い合わせ 喜多方プラザ ☎0241(24)4611
FAX 0241(24)4612 e-mail info@kitakataplaza.jp
※チケットは町体験交流館でも販売しています。

町内イベントのご案内

■「五.七.五.を詠む」教室を開催

福島県地域づくり総合支援事業補助金の支援を受け実施する「猪苗代兼載の里づくり事業」。その一環として「五.七.五.を詠む」教室を開きます。初めての人でも大丈夫ですので、気軽に参加してください。

○日 時：7月31日(土)・8月28日(土)・
9月25日(土)・10月23日(土)・11月13日(土)
各回とも13:30～15:30

○会 場：町体験交流館

○講 師：鈴木邦子先生(町内関都出身・郡山市在住
元高校古典文学教諭)

- 会 費：無 料(教材費は別途必要。初回は資料代500円)
- 申し込み方法：電話かハガキで、住所・氏名・電話番号を記入して下記までご連絡ください。
- 問い合わせ
〒969-3112 猪苗代町字馬場5516
福島地域文化研究所 小松山六郎
携帯090(7930)0901
〒969-3123 猪苗代町字鶴田141-1
町体験交流館 安部智恵
☎(72)0180

猪苗代町体験交流協会からのお知らせ

■山野草展示会および書画の会作品展示会

猪苗代山草会および書画の会作品展示会は5月15、16日の両日、町体験交流館大研修室・展示ホールで開催されました。200点を超える山野草の鉢植え展示、チャリティー販売や書画の会作品展示に、2日間で1,000人を超える来場者が訪れました。ボランティアで設けられたお茶席では、抹茶を味わいながら、ゆっくりと楽しい時間を過ごす来場者の姿が見られました。



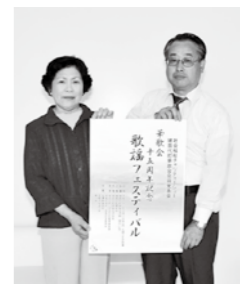
珍しい山野草をじっくりと観賞し、写真に収めて楽しむ来場者ら



書画の会会員の作品は力作ぞろい。多くの来場者を魅了しました

■華歌会15周年記念 歌謡フェスティバル

発足15周年を迎え、記念事業として歌謡フェスティバルを開催します。歌と踊りの共演をぜひ、みんなで見に来てくなんしょ。



ポスターを手にする安部弘子会主と安部房義副会長

- 日 時
6月20日(日)
午前9時30分
- 会 場
町体験交流館
- 入場料：1,000円
主催 華歌会
共催 町体験交流協会

教育委員会コラム

〈第二回〉

八年前、千葉ロッテのスカウト松本尚樹氏(39)は、一人の高校生に目をつけた。大阪桐蔭高校の四番打者、西岡剛(25)。彼は連日、生駒の山奥、桐蔭のグラウンドに通い詰めたが、獲得には大きな障害があった。当の本人には、ロッテ入団の意思は全くなかったのだ。毎日見に来る男がロッテのスカウトと知ってからは、さらに入団拒否の態度を硬化させた。しかし、松本には自信があったという。

一見、チャラチャラしているように見える西岡に、信じた道をとことん突き進むような一途さ、情熱があることに気付いた時、これならば説得できると思ったのである。

二〇〇二年ドラフト会議で、ロッテは一巡目に西岡を指名、西岡は松本の見込み通り入団した。「この世界、野球が上手いだけではダメです。粘り強さやあいさつ、マナー、リーダーシップなど社会人としても及第点をやるかが重要」と彼の言葉。西岡が、現在パリーグを代表するトップ選手であることは言うまでもない。今年のロッテはいつもと違うようである(週刊現代「ザスカウト」の記事を一部参考にした)。

プロのスカウトが高校球児に直接接するのには禁じられているが、グラウンド外ですれ違ったとき、「きちんとあいさつをしないまでも、ニコッと微笑んでくれるようなのは将来有望」だそうである。(土屋)